

※表示単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳の計は一致しません。

自主財源 市税 市民税、固定資産税、軽自動車税などの市の税金
 その他 公共施設の使用料やサービスの手数料など

依存財源 地方交付税 人口や市税収入額などに応じて国から交付されるお金
 国・道支出金 特定の事業に対し、国や北海道から交付されるお金
 市債 国や銀行から借り入れるお金
 その他 地方消費税交付金など

一般会計 収入のポイント

『市税』は、市民の皆さんに納めていただく安定的な収入であり、財政運営上は、収入全体の中で、自主財源である市税の割合が高いことが望ましいとされていますが、登別市の市税の割合は23・3割となっており、『地方交付税』や『国・道支出金』の割合の方が高くなっています。

また、平成31年度は、建設事業などを行うときに借り入れる『市債』が大きく増加しました。

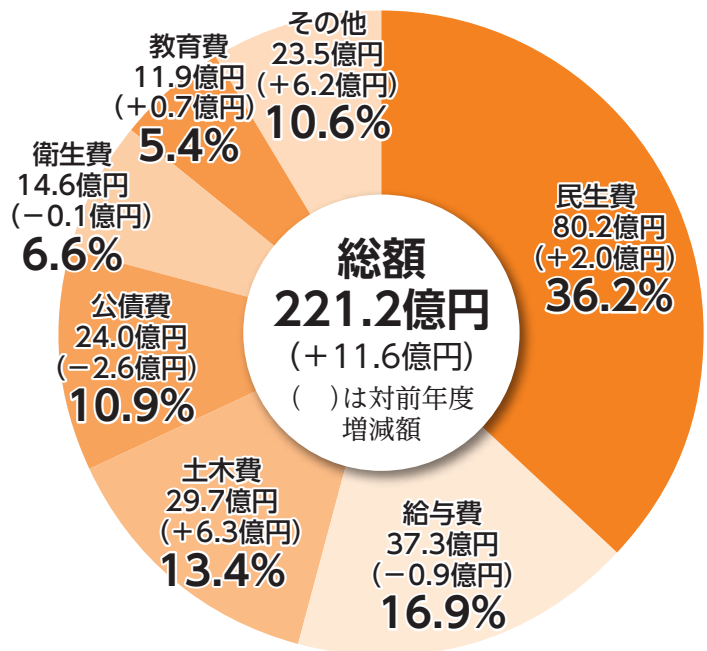
国や北海道から交付される地方交付税と国・道支出金が収入の約半分を占める

一般会計 支出のポイント

医療や福祉に使う『民生費』が支出の約36割を占めています。

『土木費』は、千代の台団地の建替事業費の増加や道道上登別室蘭線東通の改良に関する受託事業費の増加などにより、大きく増加しています。

『その他』の支出は、登別温泉支署と登別支署を統合した新支署の建設工事費の増加などにより、大きく増加しています。



借金を返済する公債費が前年度から減少し、土木費などが大きく増加

民生費 高齢者や子どもなどの福祉に使うお金
給与費 職員に給料などを支払うお金
土木費 道路や市営住宅などの整備・維持管理に使うお金
公債費 借金を返済するお金
衛生費 市民の健康増進、ごみ処理などに使うお金
教育費 児童・生徒の教育、学校の整備や運営などに使うお金